

豊島区がん対策推進計画（第3次）の策定に係るパブリックコメントの実施結果について

1 計画名称

豊島区がん対策推進計画（第3次）

2 計画の概要

別紙のとおり

3 会議経過と今後のスケジュール

令和2年 8月31日	第1回がん対策推進会議（終了）
10月26日	第2回がん対策推進会議（終了）
12月2日	第3回がん対策推進会議（終了）
12月21日～1月20日	パブリックコメント実施（終了）
令和3年 2月2日	第4回がん対策推進会議（書面開催・終了）
3月	計画策定・公表
4月21日	パブリックコメント結果の公表

4 パブリックコメントの実施結果の概要

実施期間	令和2年12月21日（月）～令和3年1月20日（水）
周知方法	①広報としま 令和2年12月21日号 ②区ホームページ (実施期間と同期間)
受付方法	メール 2件 ファクス 2件
(合計)	4件
意見件数	4件
結果の公表日	令和3年4月21日
広報としま	令和3年4月21日号
区ホームページ	令和3年4月21日～
計画書の発行予定	令和3年3月末

5 計画への意見の概要と区の考え方

第2章：分野別施策

I がん検診の推進

1. 実施すべきがん検診

番号	ご意見等の概要	件数	区の考え方
1	区が実施するがん検診の方法の中に、口腔がん検診の項目がないので加えたほうが良いのでは。	1件	ご意見を踏まえ、豊島区歯科医師会が独自に実施している検診として、P24に口腔がん検診の記載をいたしました。

II がんの予防・普及啓発

3. がんの発症予防及び前がん状態での早期発見

番号	ご意見等の概要	件数	区の考え方
2	「胃がんリスク検診」に関して、検診という言葉を使うことによって、胃がん検診と誤解される可能性があります。ピロリ菌検査、ABC評価ともに、あくまで胃がんになりやすい粘膜の評価をするものであって、胃がんそのものを見つけるためではないことを明確にするべきです。したがって、「胃がんリスク評価」と改めるべきだと思います。	1件	ご指摘を受け、「胃がんリスク評価」に修正いたしました。

III がん患者と家族の支援

1. がん情報に関する情報提供

番号	ご意見等の概要	件数	区の考え方
3	がんに罹患しても、どこに相談したらよいかわからない人は多いと思います。計画には、がんに関する相談機関などの情報も掲載されているので、役に立つと思います。	1件	本計画を手にした方がすぐに相談できるように、相談機関の問い合わせ先を掲載いたしました。本計画を、様々な機会を通じて普及してまいります。

3. 緩和ケアとがん地域医療連携の推進

番号	ご意見等の概要	件数	区の考え方
4	豊島区には他自治体と異なり看護師会があるので、豊島区看護師会との連携に期待しています。	1件	看護師会と連携して、講演会や研修の実施に向けて検討いたします。

豊島区がん対策推進計画（第3次）の概要

基本理念

がんに対する理解と関心を持ち

健康的な生活習慣を実践しながら地域で暮らしていけるまちづくり

基本方針

- 1 がんの早期発見・早期治療のため、がん検診の受診率の向上をめざします。
- 2 がんに対する理解と関心を深められる普及啓発を実施し、がん予防への取り組みを推進します。
- 3 がん患者と家族への支援を行い、住み慣れたまちで安心して暮らせるしくみづくりをめざします。
- 4 ライフステージに応じたがんに対する支援を行い、時期に応じた適切な治療や支援を受けられるしくみづくりをめざします。

計画期間

計画期間：5か年

令和3年度～令和7年度

本計画とSDGs

本計画の理念は、SDGsが掲げる目標およびターゲットのうち、目標3「すべての人に健康と福祉を」の部分に合致します。本計画の推進が、SDGs達成に向けた取り組みの推進へつながります。



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



がん対策の推進における4つの柱～分野別施策～

I がん検診の推進

がんの早期発見・早期治療のため、がん検診の受診率の向上をめざします。

1. 実施すべきがん検診
2. がん検診受診率の向上
3. がん検診の質の向上
4. 検診受診率向上に伴う財政負担の想定



II がんの予防・普及啓発

がんに対する理解と関心を深められる普及啓発を実施し、がん予防への取り組みを推進します。

1. がんに関する正しい知識の普及
2. 生活習慣の改善
3. がんの発症予防及び前がん状態での早期発見
4. 喫煙による健康被害の予防



III がん患者と家族の支援

がん患者と家族の支援を行い、住み慣れたまちで安心して暮らせるしくみづくりをめざします。

1. がん情報に関する情報提供
2. がん患者や家族の不安軽減
3. 緩和ケアとがん地域医療連携の推進

IV ライフステージに応じたがん対策

ライフステージに応じたがんに対する支援を行い、時期に応じた適切な治療や支援を受けられるしくみづくりをめざします。

1. 小児・AYA 世代に対する支援
2. 働く世代に対する支援
3. 高齢者に対する支援



重点施策

1 がん検診の推進

がんは早期に発見し早期治療を行えば、完治することも可能です。自覚症状が現れにくいがんの早期の段階で発見し、早期治療に結びつけるためには、がん検診を定期的に受診することが重要です。



2 児童・生徒へのがんに関する教育

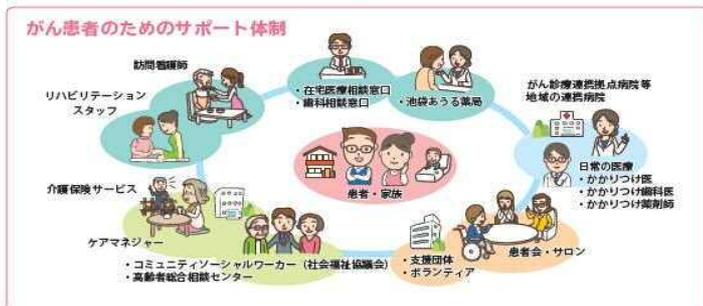
学校における健康教育の一環として、児童・生徒ががんについて学ぶ機会を設け、成人してもがんの予防につながる健康的な生活を送ることができるよう、がんに関する正しい知識の普及を推進します。

3 喫煙による健康被害の予防

喫煙は、肺がん・喉頭がんの原因であるばかりでなく、様々な病気の原因となっていることから、禁煙対策は重要な課題です。また、受動喫煙防止対策についても取り組みをすすめていきます。



4 がん地域医療連携の推進



「豊島区みんなのためのがんサポートガイド」より

がんや緩和ケアに関する情報提供を行い、治療方針などを選択できるように支援します。また、がんになっても質の高い療養生活を送ることができるよう、多職種による地域医療連携のネットワーク構築を推進します。

5 小児・AYA世代、働く世代、高齢者の支援

がんは、特定の世代に発症するわけではありません。また、年代に応じて、がん患者のライフステージごとの特徴や課題は異なります。このため、個々のライフステージに応じた支援を推進します。



「東京都がん対策推進計画(第二次改定)」より